

JR WEST 西労組 UNION ニュース

No.9
(通算)No.531
2019.3.15
JR西労組ホームページ
(http://www.jrw-union.gr.jp)

西日本旅客鉄道労働組合
本部 〇〇〇〇〇〇 〇〇〇〇
TEL 06-6375-1171
FAX 06-6375-1174
●発行責任者 宮野山
●編集責任者 宮野山
●編集責任者 宮野山
●編集責任者 宮野山



春闘前哨戦



45歳以上の部 1位
渡川 探選手 (サンマツハスポーツ)
■記録:21秒90



個人総合の部 1位
佐々木竜一選手 (上昇気竜)
■記録:20秒24



女性の部 1位
和田麻季選手 (2019)
■記録:23秒74

第22回 JR京都駅ビル 「大階段 駆け上がり大会」

開催



協力会社代表 京都駅ビル開発(株) 福山社長によるあいさつ

荻山委員長による 主催者代表あいさつ



選手宣誓はホテルグランヴィア京都・ガイアホテル京都へおこしやす



京都障害者スポーツ振興会にチャリティー基金を贈呈



新倉青女委員長による開会宣言



総合優勝「2019」に贈られた「紀州勝浦産・生まぐる」
■記録:1分31秒79

過去最多のグループ労組が参加
春闘勝利への熱き思いでかけ上がる!!



MCは、KBS京都 梶原・岩田アナウンサー



京都冬の風物詩「階段駆け上がり大会」のさらなる発展を祈願し鏡開き



開会宣言は、JR西労組・里内副委員長

大会運営などのスナップやコメントは裏表紙(8面)をご覧ください。

天まで翔ける、
春よ来い!

2月23日(土)、2019春闘の前哨戦として、KBS京都主催・JR西労組共催のもと、第22回JR京都駅ビル大階段駆け上がり大会が、今年も盛大に開催された。
大会には、80チーム320名がエントリーし、高低差30メートル171段の大階段で健脚を競い合った。今年もゲストとして「走る男」タレントの森脇健児さんが会場に駆けつけ、大会を盛り上げた。

JR京都駅ビル大階段駆け上がり大会は、1997年9月に現在の京都駅ビルが誕生した際、その大きな特徴である大階段を何かに活用できないかとJR西労組の提案により、実現に向け検討が開始された。1995年に発生した阪神淡路大震災以降の日本の停滞から脱却するため、京都から元気を出そう!という掛け声のもと、京都の一番の閑散期である2月に開催することや、寄付金を通じた障がい者スポーツの振興も目標にすることが具体的に検討され、1998年に第1回大会を開催。以降、毎年欠かさず春闘の前哨戦として開催され、京都の冬の大きなイベントのひとつとなっている。今では京都府外からの参加希望者も多く、JR西労組が取り組む地域活性化運動の大きな役割をも果たしている。

会場となる「大階段」は、JR京都駅ビルの室町小路広場からさびえる、171段高低差35メートル・全長70メートルもの階段群である。競技に参加したJR西労組13チーム・JR西日本連合21チームの仲間達は、日頃の成果を存分に発揮し、春闘勝利に向け力強く駆け上がった。(JR西労組グループ労組各チームの順位は別掲参照)

当日は天候にも恵まれ、競技に参加したJR西労組・JR西日本連合の仲間たちは、日頃の練習の成果を存分に発揮し、春闘勝利に向け力強く、最後の一段まであきらめずに駆け上がった。

JR西労組からは全13地本総支部、グループ労組からも過去最多となる23単組からの出場があり、団体の部では「オッシュイ博多(福岡地本)は全体の17位、ジェイアール西日本伊勢丹が全体の19位に入るなど、大会を大いに盛り上げた。

今年も、優勝した団体には、那智勝浦町観光協会から贈られた生マグロ一本が贈呈された。その他にもJR西日本グループの各社から提供いただいた多くの豪華賞品で、会場は大いに賑わった。また、参加者から集められた参加費と、例年好評の肉まんや豚汁、おしるこによって得られた収益は、全て京都障がい者スポーツ振興会に寄贈された。

当日の様子は3月10日18時からKBS京都にて、約1時間にわたって放送された。今回も大会の成功に尽力していただいた京都地本や青年女性委員会のメンバーに改めて感謝するとともに、組合員全員の春闘勝利に向けた層の団結を要請する!